Ⅲ　埼玉県「性に関する指導」授業研究会

【小学校部会】
令和６年１１月２７日（水）　本庄市立藤田小学校
第４学年「体の発育・発達」（ア）体の発育・発達
教　　諭　　井上　実香（Ｔ１）
養護教諭　　塩澤美保子（Ｔ２）

【中学校部会】
令和６年１０月１６日（水）　加須市立昭和中学校
第３学年「健康な生活と疾病の予防」性感染症とその予防
教　　諭　　久保あかね

【高等学校部会】
令和６年１０月２３日（水）　県立進修館高等学校
第１学年「現代社会と健康」（イ）現代の感染症とその予防
性感染症・エイズとその予防
教　　諭　　梨本　雄太

（小学校部会）

令和６年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（小学校）開催要項

１　趣　旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

２　主　催　　埼玉県教育委員会

３　期　日　　令和６年１１月２７日（水）

４　会　場　　本庄市立藤田小学校　　本庄市牧西１１７１

５　参加者　（１）県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校（小・中学部設置）の教職員（教諭、養護教諭、保健主事等）
※本庄市立小学校においては各学校１名の参加をお願いします。
（２）各市町村教育委員会の指導主事等

６　日　程

（１）受　　付	１３時００分～		（東昇降口）
（２）全 体 会	１３時１５分～	１３時３５分	（体育館）
（３）公開授業	１３時４５分～	１４時３０分	（２階　多目的ホール）
（４）研究協議	１４時５０分～	１６時２０分	（体育館）

７　公開授業

学年	授業者	単元名
４年	井上　実香　教　　諭（Ｔ１） 塩澤美保子　養護教諭（Ｔ２）	体の発育・発達 （ア）体の発育・発達

８　指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	薬師寺將二
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	龍野　雅美
本庄市教育委員会学校教育課	指 導 主 事	久保宗一郎

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
八潮市立八幡小学校教諭	委員	藤田　晃輔
入間市立東町小学校教諭	委員	犬島　未歩
志木市立志木中学校養護教諭	委員	力丸真智子
加須市立昭和中学校教諭	委員	久保あかね
熊谷市立熊谷東中学校教諭	委員	今成　友美
県立北本高等学校教諭	委員	川尻鈴ノ介
県立進修館高等学校教諭	委員	梨本　雄太
県立三郷高等学校養護教諭	委員	宮尾　仁美

9　参加について

・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
・上履きと下足入れをお持ちください。
・お車でお越しの際は、敷地内校舎北側に駐車してください。駐車しきれない場合は、近くの藤田公民館をご利用ください。
・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

本庄市立藤田小学校への御案内

QRコードより藤田小ホームページをご覧ください。

駐車場の御案内

地図を掲載していましたが、実施報告書上では省略します。

(2) 体の発育・発達

(ア) 体の発育・発達

(イ) 思春期の体の変化

1　指導内容の系統性

中学校では、生殖にかかわる機能の成熟や成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に表れる変化や体の中に起こる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

2　指導内容の明確化

要）学習指導要領
解）同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
① 発達の段階を踏まえること
② 学校全体で共通理解を図ること
③ 保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

思春期には

要1）体は年齢に伴って変化することを理解できるようにする。

要2）体の発育・発達には個人差があることを理解できるようにする。

要3）次第に大人の体に近づき、体つきが変わることが理解できるようにする。

要4）初経、精通などが起こることが理解できるようにする。

要5）異性への関心が芽生えることが理解できるようにする。

本時　1／4時間

解1）体の発育・発達については、身長、体重などを適宜取り上げ、これらは年齢に伴って変化することを理解できるようにする。

解2）体の変化には個人差があることを理解できるようにする。

2／4時間

解3）体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることを理解できるようにする。

3／4時間

解4）　初経、精通、変声、発毛が起こることについて理解できるようにする。

解5）　異性への関心も芽生えることについて理解できるようにする。

解6）　個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。

解7）自分と他の人では、発育・発達などに違いがあることに気付き、これらを肯定的に受け止めることが大切であることについて触れる。

3　知識を活用した学習

第１時は、体の年齢に伴う変化や個人差について正しく理解し、発育・発達の傾向やしかたには個人差があることを自分の言葉で表現できるようにする。

【導　入】

＜先生方の４年生の身長あてクイズ＞
児童の身近な存在である教師の身長の変化を提示し、課題をより身近なものに自分事として捉えられるようにする。
そしていくつか挙げられる発育に伴う体の変化から、本時で取り上げる「身長の伸び」に焦点を当てていく。

〈本時の課題〉
わたしたちの体は、年れいとともに、どのように変化してきたのか考えよう。

【展 開　1】（習得①）

すくすくテープ（入学時から４年生までの身長の伸びの合計の長さの紙テープ）を使って、これまでの身長の伸びを確かめる。

＜発育グラフの作成＞
すくすくテープを切り分け、学年ごとの身長の伸びの棒グラフを作る。

オクリンクで自分のグラフを送り、みんなのグラフの共通点や相違点を考える。

すくすくテープ

指導すべき内容
○身長や体重は、年齢に伴って変化すること。
○体の変化には個人差があること。

【まとめ】（習得②）

体は年齢があがるとともに、発育する。発育には、個人差がある。

【展 開　2】（活用①）

＜ロールプレイ＞
発育で悩んでいる人へのアドバイスを考え、ペアでロールプレイを行う。

評価【知識・技能】（観察・ワークシート）
体は年齢に伴って発育・発達すること、及び、発育・発達には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

なやんでいる子にアドバイスしよう

おなやみ１
最近、みんな背がのびて大きくなったのに、ぼくだけ、背がのびなくて・・・なやんでいるんだ。

ふじたさん

おなやみ２
４年生になったら、急に背がのび始めて、背のじゅんも、一番後ろになっちゃった。なんだか、はずかしいな。

しょうこさん

第４学年１組　体育科（保健領域）学習指導案

令和６年１１月２７日（水）　第５校時　２階多目的ホール

１４名

本庄市立藤田小学校　指導者　教　　諭　井上　実香（T1）

養護教諭　塩澤美保子（T2）

1　単元名「体の発育と健康」

2　単元について

本単元は、体の発育・発達について、その一般的な現象や思春期の体の変化などについて理解できるようにすること、体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方について理解できるようにすること、さらに体の発育・発達に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて考え、それを表現できるようにすることをねらいとしている。

具体的には、①身長や体重など、体は年齢に伴って変化すること　②体の発育・発達には個人差があること　③思春期には体つきに変化が起こり、男女の特徴が現れること　④思春期には初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること　⑤体をよりよく発育・発達させるためには適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であることについて理解を深める。

3　児童の実態

（１）知識及び技能

（掲載省略）

（２）思考力、判断力、表現力等

（掲載省略）

（３）学びに向かう力、人間性等

（掲載省略）

【アンケート結果】　　令和６年10月23日（水）実施

		はい	いいえ
1	保健の学習は好きですか？	14	0
2	健康は大切だと思いますか？	14	0
3	大人と子どもの体はどのような所が違うと思いますか？（記述）		

身長・頭脳・体重・骨の形・歯の数・力の強さ・子どもを作れるか・分からない			
4	自分の体が大人に近づいているなと感じることはありますか？	3	11
4－1	それはどんな時ですか？（記述）		
月経がきた時・身長が伸びた時・足が成長痛になった時・ご飯をいっぱい食べている時・力が強くなった時			
4－2	大人に近づいていると感じるとき、不安になったり悩んだりしましたか？	1	13
5	異性の友達と仲良く過ごすことはできていますか？	14	0
6	異性の友達と話すとき、はずかしくなるときはありますか？	2	12
7	異性にちょっかいを出してしまうことはありますか？	2	12
8	異性と仲良く過ごしたいですか？	13	1
9	おうちの人と自分の体について話すことはありますか？	6	8
10	自分の体について学習することは大切だと思いますか？	14	0
11	保健の学習で知りたいことはありますか。（記述）		
生理のこと・男の人は精子が初めて出る時どのくらい出るのか・体の細胞・健康について			

4　教師の指導観

（1）知識及び技能

保健領域においては、単に知識を理解させるだけでなく、いかに「自分事」として捉え、自らの健康生活に積極的に活用し、実践したいという意欲を伴った「生きて働く知識」を育むことが大切である。児童は、「大人になること」＝「体が大きくなること」と捉えがちであるが、本単元では「体の中の成長」もあることを伝え、今後自分や周りに起きる変化について理解し、適切に対応できるように指導する。

（2）思考力、判断力、表現力等

本単元では、「知識を習得」し「活用」する、という流れで１時間の授業を構成している。授業後半には、体の発育発達に関わる身近な事象から課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現させる活動を充実させる。また、ロールプレイやケーススタディを取り入れ、習得した知識を活用し他者にアドバイスをする経験を通して、思考力、判断力、表現力を高めていきたい。

（3）学びに向かう力、人間性等

単元を通して、体の発育には「個人差」があることを伝えていくことで、児童が感じる不安を取り除けるようにする。また、思春期の体の発育に対して恥ずかしいと感じる児童も多いが、肯定的に受け止められる態度も育てていきたい。

以上のことから、次のような手立てを講じることとする。

① 児童が知りたい、考えたいと思えるような教材を準備するために、事前アンケートを取り、児童の実態を把握する。また、発問や声掛けの精査を行う。

② 児童が興味関心をもつよう、自分の体の変化を可視化させ、自分事として捉えさせる。（ICT の活用）

③ 養護教諭を T2 とし、身長など既存の健康データの活用、専門的な知識の解説を行うとともに、授業後の相談先の１つとして、関係づくりを行う。

④ 恥ずかしいと感じないように個人学習、グループ学習、全体指導の場面を精査する。また、ゲーム形式やクイズ形式も取り入れ、学級の雰囲気を和らげる場づくりを行う。

⑤ イメージしづらいことは ICT を用いて説明することで理解を深めさせる。

⑥ 習得した知識を活用する場としてロールプレイやケーススタディを取り入れる。

⑦ 身近な体験を伝えるために保護者アンケートを取り、学習に体験談等を取り入れる。

5　単元の目標

（1）年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。（知識及び技能）

（2）体の発育・発達について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

（3）体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとすることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

6　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期には体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることや変声、発毛が起こることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③思春期には精通、初経が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。 ②体をよりよく発育・発達させるための生活について、学習したことを自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして適切な解決方法を考え、説明している。	① 体の発育・発達について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習を通して、自分の生活を振り返り、今後のよりよい生活の仕方について考えることに進んで取り組もうとしている。

7　単元の指導と評価の計画（全４時間）　本時は第○印　※主体的に学習に取り組む態度は単元を通して適宜評価していく。

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
①	Ⅰ　ねらい・ ・身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について理解できるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　身長当てクイズをする。 2　本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 3　入学時から４年生までの自分の身長の伸び量クイズを行う。 （児童一人一人の伸び量の長さに切った「すくすくテープ」を配布） 4　すくすくテープを使って、自分の発育量を知る。 5　発育・発達について知る。				

	6　グラフを使って、毎年の発育の特徴について考える。 7　学習のまとめをする。 8　ロールプレイを行う。 9　ふりかえりを行う。 主たる学習内容（知識） ・身長や体重は年齢に伴って変化すること。 ・体の変化には個人差があること。	①			発言の観察 学習カードの記入
2	Ⅰ　ねらい ・思春期には体つきの変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることや変声、発毛が起こることについて、理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、身長や体重などの年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付け、説明することができるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　シルエットクイズを行い男女の体つきの違いについて考える。 2　本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 3　これから起こる体つきの変化について予想する。 4　成長発見ゲームを行う。 5　思春期に起こる体つきの変化について確認する。 6　身近な大人の体験談を聞く。 7　体の変化が起こる時期には男女差、個人差があることを知る。 8　学習のまとめをする。 9　ケーススタディを行う。 10　ふりかえりを行う。 主たる学習内容（知識） ・思春期の体つきの変化には男女差、個人差があること。 ・思春期には変声、発毛が起こること。	②	①		発言の観察 学習カードの記入 ワークシートの記入
3	Ⅰ　ねらい ・思春期には初経、精通が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連づけたりするなどして適切な方法を考え、説明することができるようにする。 Ⅱ・学習活動 1　マンガ吹き出しクイズを行い体の中に変化が起こることを知る。 2　本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 3　初経・精通について知る。 4　体の中の変化について考え、まとめる。	③			発言の観察

	5　思春期には異性への関心も芽生えることを知る。 6　学習のまとめをする。 7　ケーススタディを行う。 8　ふりかえりを行う。 主たる学習内容（知識） ・思春期には初経・精通が起こること。 ・思春期には異性への関心も芽生えること。		②		学習カードの記入 ワークシートの記入
4	Ⅰ　ねらい ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であることを理解できるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　アンケート結果から、本時のねらいをつかむ。 2　給食の献立から体がよく育つために必要な食物について知り、よりよい生活について考える。 3　よりよい成長に必要な運動の仕方について知り、よりよい生活について考える。 4　休養と睡眠の役割について知り、よりよい生活について考える。 5　学習のまとめをする。 6　ふりかえりを行う。 主たる学習内容（知識） ・体をよりよく発育・発達させるためには、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であること	④		①	発言の観察 学習カードの記入

【他教科等との関連】

特別活動　（2）イ　「大切な命」

外部講師として助産師をお招きし、「体つきの変化は、新しい命を作る準備」であること、命の誕生の素晴らしさを通して、自分の命の大切さを実感させる授業とする。

授業実施の実際の日程

１０月初旬	性に関する教育を行うことを保護者への周知（校長名で文書配布） フォームによる保護者へのアンケート（体の発育・発達で不安に思ったことなど）
１０月中旬	児童への事前アンケート
11/27（水）	【本時】　第１時　変化していく体
12/2（月）	第２時　思春期の体の変化（体の外の変化）
12/3（火）	第３時　思春期の体の変化（体の中の変化）
12/9（月）	【特活】　外部講師による授業　「命の誕生」 体の変化は新しい命を作る準備　命はかけがえのないもの　かけがえのないみんな
12/10（火）	第４時　よりよい発育のために

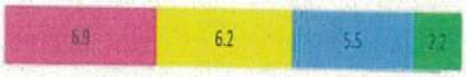
8　本時の学習と指導（1／4）

（1）ねらい

身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について理解できるようにする。　〈知識及び技能〉

（2）資料及び準備するもの　・発育量の紙テープ　・ワークシート　・タブレット　・教科書

（3）展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点（○指導　◆評価規準） T1　学級担任　T2　養護教諭
導入 5分	1　藤田小学校の先生方の小学生４年生時身長あてクイズをする。 Q1　○○先生の小学生４年生の時の身長はどれくらいだったと思いますか？	T1○児童の身近な存在である教師の小学生の頃の身長を事前に調べ、現在身長の高い教師も小さかった事例を紹介する。 T1○「大きさ（身長）」の違いに気付かせるようにする。 T1○４年生は、大きな変化が起こっている最中であることをおさえる。
展開 20分	2　本時の課題を確認し、学習の見通しを持つ。 【学習課題】 ㋕わたしたちの体は、年れいとともに、どのように変化してきたのか考えよう。	
	3　入学時から４年生９月までの身長の伸び量クイズを行う。 Q2　自分は、１年生の時から、どれくらい大きくなっただろうか？	T1○10㎝刻みで、予想される伸び量に挙手をさせる。 T2○おおよその大きさを手で示し、児童がその大きさを想像しやすいようにする。
	4　すくすくテープを使って、これまでの自分の身長の伸びを確かめる。 すくすくテープ  ※エクセルデータを活用し作成	T2○入学時から４年生の９月までの身長の伸びを表したものが「すくすくテープ」であることを説明し、配布する。 （１年生時の伸び：赤・２年：黄色・３年：青　４年：緑） T1○児童を隣同士でペアにさせ、テープの長さ分くらいしゃがませ、伸びを体感させるよう声かけを行う。
	5　発育・発達について知る。 主たる学習内容（知識） 身長や体重は、年齢に伴って変化すること。	T2○「発育・発達」は身長だけでなく、身長が伸びることは、骨や筋肉なども伴って成長するため、体重の増加も自然な変化であることを伝える。

展開（考える）

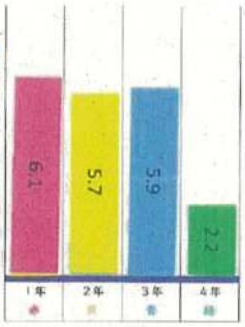
6(1) テープを色（学年）ごとに切り、ワークシートに貼り付け、自分の身長の伸びのグラフを作成する。その後、オクリンクで送る。作業が終わったら、気付いたことを記入する。

テープが途中で色が変わっているのは、それぞれの学年で伸びた身長を表しています。色ごとにテープを切り、グラフを作ります。できたグラフを写真に撮って、オクリンクで送ってください。

T1T2○机間指導を行う。

T1○作業が終わった児童は、気づいたことを記入するよう声かけを行う。

T1○グラフを、伸びた学年などに注目しながら、児童たちと一緒にグループ分けをし、共通点や相違点について考えをまとめる。



(2) みんなのグラフを見て、共通点や相違点について考える。

Q3 みんなのグラフを見て、気づいたことは何だろう？？

〈予想される反応〉
・伸びている学年はバラバラ
・○○さんと○○さんの伸び方は似ている
・自分の予想と違った

主たる学習内容（知識）
体の変化には個人差があること。

T1○身長の伸び方の特徴で、次の２点を抑える。
・全く伸びていない人はいない
・毎年伸び方が違う

T2○発育には「個人差」があることを伝え、個人差を肯定的に捉えられるように助言する。

7 学習のまとめをする。

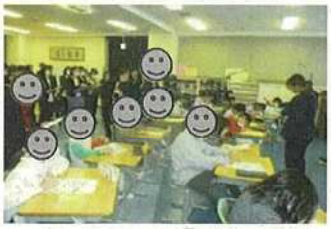
T1○児童とのやり取りをもとにしながら、まとめのことばを練り上げて、板書する。

主たる学習内容（知識）

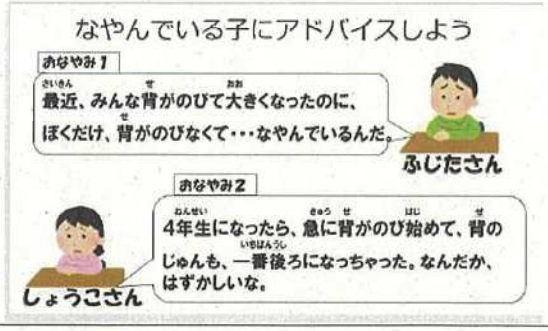
(ま) 体は年齢があがるとともに、発育する。発育には個人差がある。

8(1)発育で悩んでいる人へのアドバイスをワークシートに記入する。

【悩み】
① なかなか背の伸びない子
② 自分だけ成長が早い子

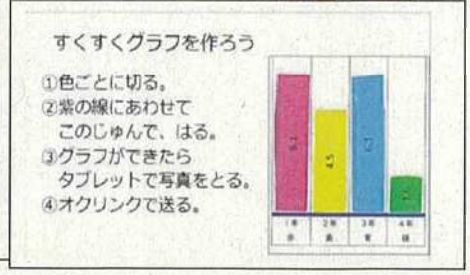


T1T2○机間指導
○本時で学んだことを生かしてアドバイスできるように促す。



まとめ（深める）（まとめる）２０分	⑵実際にペアでアドバイスのロールプレイを行う。 	T1T2○机間指導 T1○２～３グループを前で発表させ、よかったところを全体で確認する。 T2○体の成長についての悩みについて考え、疑似体験することで、体の変化に対する不安や悩みは、個人差はあるが、だれでも経験することを伝え、不安を軽減させられるようにする。 ◆体は年齢に伴って発育・発達すること、及び、発育・発達には個人差があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 （ワークシート）※授業後【知識・技能】 △「努力を要する」状況（C）と判断される児童への指導の手立て ・これまでの学習内容を、学習カードや黒板の板書などで振り返らせ、確認させる。 ◎「十分満足できる」状況（A）と判断される児童の具体的な姿 ・年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことに加え、グラフから読み取ったことや話し合いから分かったことを記述している。
	９　振り返りをする。	T1○ワークシートに振り返りを記入させる。 T2○質問したいことや不安や心配事があったら、いつでも保健室にも相談してよいことを伝え、個別の指導につなげていく。 T1○次の時間の予告をする。

９　板書計画　（黒板）　　（大型 TV）



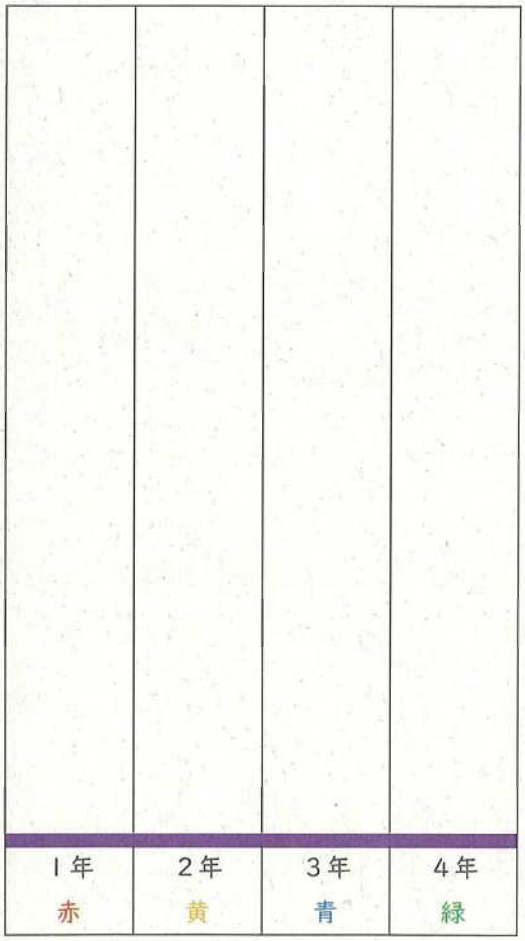
ワークシート

体の発育と健康

年　　組　　番　名前

㋕ わたしたちの体は、年れいとともに、どのように変化してきたのか考えよう

自分の身長が、毎年どれくらい伸びたか調べましょう。



グラフをみて、気がついたことがあれば、書きましょう（メモ）

この線に合わせて紙テープをはりましょう。

㋙

おなやみ１

最近、みんな背がのびて大きくなったのに、
ぼくだけ、背がのびなくて・・・なやんでいるんだ。

アドバイス

ふじたさん

おなやみ２

４年生になったら、急に背がのび始めて、背のじゅんも、一番後ろになっちゃった。なんだか、はずかしいな。

アドバイス

しょうこさん

ふりかえりを書きましょう。

保護者宛文書

令和６年１０月７日

４年生保護者　様

本庄市立藤田小学校
校　長　　髙月　陽子
４年１組担任　井上　実香
養護教諭　　塩澤美保子

保健の学習について（お知らせとお願い）

日頃より本校の教育活動に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。

さて、４年生は今後、保健の授業で「体の発育・発達」について、下記のとおり学習をします。

思春期の入り口にさしかかっている４年生にとって、今後、心や体がどのように変化していくか知ることは重要なことです。また、体の発育発達の学習を通じて、自分自身と周りの人たちを大切にする気持ちを育てたいと考え、命の大切さ・誕生という内容で、外部の先生もお呼びして、お話をお聞きする予定です。

授業の趣旨を御理解の上、授業実施に際して、何か御不安なことや、配慮が必要なことがありましたら、いつでも遠慮なく、担任または養護教諭まで、御相談ください。

【授業・講話の予定】

時期	教科・時間数	内容
１１月末～ １２月上旬	体育（保健） ４時間	体の発育・発達　個人差　思春期の心の変化 思春期の体の変化（体の外や中の変化）
１２月９日（月）	特別活動 １時間	「命の誕生」　講師　〇〇〇助産所　△△△△ 様

※保護者の方へお願い

授業の中で、大人になるにつれて、起こった体の変化について、子どもたちにとって一番身近な大人である保護者の皆様の体験談等を教えていただければと思います。

データの収集は匿名で行っております。いただいた体験談は、匿名で授業中に紹介させていただきます。御賛同いただける保護者の方は、下記 QR コードから、アンケートに御回答ください。御協力をお願いいたします。

（回答例・小学生の時、みんなは背が伸びたのに、自分は伸びず、どうして自分だけと悩んでいた。
・声が低くなって、みんなの前で話すのが、恥ずかしかった。
・生理に初めてなった時、家の人が喜んでくれた。大人に近づいたみたいで嬉しかった。
など。嬉しかったことも不安だったことも、体験談お待ちしています。）

QR コード

回答締切
１０月２５日（金）

養護教諭　説明資料

T2として、「個人差」を説明する場面で話す内容

今みんなが言ってくれたように、身長は毎年同じように伸びるわけではありません。

そして急に伸びる時期やどれくらい伸びるかは一人一人ちがいます。このことを「個人差」と言います。

最初にクイズに出した○○先生と△△先生ですが、生まれてから大人になるまでの大きくなり方をインタビューしてグラフにしてみました。こっちが○○先生（貼る）そしてこっちが△△先生です。（貼る）

生まれてからみんなの今までも、（0～10歳をさして）これから（10歳以降をさして）の発育の仕方、体の大きくなり方が、人によって違うのは当たり前のことです。

今日も入れてあと3回、保健の学習で、体の発育について勉強します。みんなの体がどういう風に大きくなるか、大人に近づくか、という勉強です。その時に、覚えておいてほしいのが、この「個人差」です。「一人一人ちがって当たり前」「個人差があるから、人と比べなくて大丈夫。」このことを、覚えておいてください。

外部講師活用について

1　目的

産婦人科医や助産師、保健師の方などに、多様な経験に基づく専門的で具体的なお話をしていただくことで、児童への高い教育効果が期待できる。

2　講師活用の場面

今回の授業においては、教科横断的に考え、体育科保健領域の授業ではなく、特別活動の授業の一環として、授業を行っていただくことにした。外部講師の授業を、本単元の第３時を終了した時点にし、第１～３時で学んだ思春期の体や心の変化を復習しながら、その変化は新しい命を生み出すための大切な変化であること、命は大切であること、をお話していただくこととした。

3　講師の選定

本校では性に関する指導で外部講師をお招きしたことがなかったため、近隣学校より情報を得た。
今回は、近隣小中学校で授業を多数行われている助産師の先生に講師をお願いすることとした。

4　活用にあたり

外部講師の活用にあたり、その教育効果を発揮していただくため、十分な打ち合わせを行う必要がある。そこで、授業の目的や学校側の指導してもらいたい内容を記載した「打合せシート」を作成した。シートは、事前に学校でお願いする部分を記載し、打ち合せ前に講師に送付した。打ち合せ当日は、講師と相談しながら、色付き枠部分を決定した。学校で準備しておくもの、配慮事項等、綿密に打ち合わせた。

5　授業の様子

	学習内容・ねらい	方法
導入5分	1　講師自己紹介・助産師の仕事	おへその話（紙芝居）
講話20分	2　成長する体・男女の違い 3　受精卵の成長～出産	パネル・胎児人形・月経モデル・胎児の心音や産声の音声データ・新生児人形・出産説明用の子宮胎児骨盤モデル・
	4　受精卵の大きさ 5　妊婦体験 6　赤ちゃん抱っこ	折り紙に空いた穴を見つける 妊婦ジャケット装着（男女１名づつ） ベビー人形を抱っこ（全員）
講話5分	7　まとめ	

6　成果

【児童の感想】
・自分の命の大せつさがわかってよかったです。これからも、自分を大切にしようと思います。
・ぼくは、うまれる前に死んでしまう子もいて、ぼくたちは、きせきでえらばれてうまれてきたんだなと思いました。苦手なことや苦手な食べ物があっても、生まれる前にしんでしまう子のことを考えて、これからも生きていきたいです。
・私は、赤ちゃんはこうやって、おなかの中で育って生まれると分かりました。私も、自分の体を大切にしてリレーのように続いてきたバトンを未来にわたしていきたいと思いました。

【授業を参観いただいた性に関する課題解決検討委員より】

・外部講師の助産師の先生が（以下、『外部講師』）、温かく優しい雰囲気でお話してくださり、保健の学習内容（精子・卵子・月経・射精・体の変化）を、肯定的に受け止められた。
（成長が楽しみ、命のバトンをつなぎたい、など）
・外部講師がリアルな体験を話してくださることで、子ども達の興味が引き付けられた。
・外部講師が、こちらのねらいの通りの授業を展開してくださっていた。打合せシートを活用した、事前の綿密な打ち合わせで、こちらのねらいを明確に伝えられた成果だと考える。

性に関する指導　打合せシート

学校名	本庄市立藤田小学校（ほんじょうしりつふじたしょうがっこう）		
担当者	養護教諭　塩澤美保子（しおざわみほこ）	連絡先	0495-22-2981（藤田小） ○○○○○@honjo.sas.ed.jp
打合せ実施日時	12/4(水)15：00～	打合せ方法	(対面) オンライン・その他
授業日時	令和６年１２月９日（月）　第５校時　13：00～13：45		
対象学年・人数	４年生児童（男子６　女子８）　計１４名		
会場	４年１組教室		
保護者参加	なし（事前にお便りで先生の授業があることは周知済みです。）		
授業のねらい （外部講師に授業で話していただきたい内容を含む）	**◎「新しい命の誕生」「命の大切さ」「かけがえのない命（自分）」について** 生命がかけがえのないものであること。卵子と精子は「命のもと」であること。生命誕生の神秘など、先生の御経験をもとにお話しください。なお、性行為等については可能な限り深入りしない方向でお願いいたします。 また、先生にお越しいただく前に、保健体育で思春期の体の外・中の変化について学習をします。命の大切さを通して、子供たちが、習った体の変化を肯定的に捉えられるようお話いただけますと幸いです。 なお、本学級の児童は、大変素直で優しいです。担任が現在妊娠中で、新しい命の誕生を楽しみに温かく見守ってくれています。一方、年齢より幼い印象があり、難しいことの理解は困難な面もあります。		
事前学習の内容 （既習内容）	【小学校】 ☑　体の発育・発達（年齢に伴う変化・個人差） ☑　男女の特徴（思春期の体の外の変化） ☑　初経・精通など（思春期の体の中の変化） ☑　異性への関心（思春期の心の変化） ☐　体をよりよく発達・発育させるための生活（本時の後、学習予定） ☐　（理科）人は母親の子宮の中で育ち、生まれること ☐　その他（　　）		
授業の流れ （進行時間配分）	授業時間　45分（13：00～13：45） 最初の２分程度で先生の御紹介をさせていただいた後、進行等は先生にお任せできればと考えております。流れはお任せいたします。		
その他 （配慮が必要な児童生徒の有無）	・（姉に子供がおり）叔父になっている児童がおります。そのことはクラスメイトに話しておりません。本人も複雑な思いがあるようなので、御配慮お願いいたします。		

講師の先生にお伺いしたいこと

講義内容	・妊娠の奇跡　・出産の素晴らしさ　・ ・陣痛・狭い産道・回旋・産声・心音 ・第二次性徴とは（簡単に触れてステキな成長であること） ・個人差があること（体験を踏まえて）
使用機器 必要物品	パソコン　☑ 持参する（Windows, Mac, その他）※HDMI 準備 ☐ 学校で PC を用意（必要台数　台・　） ☐ 使用しない プロジェクター　☐ 使用する　☐ 使用しない マイク　☑ 使用する　☐ 使用しない　※ポータブル拡声器準備 その他（スライド送り持参
配布物 （変更可）	☐事前にデータをいただく（学校で必要部数を印刷、準備） ☐当日にデータをいただく（先生到着後、すぐに学校で印刷、配布） ☑当日に配布物をいただく（授業の際に配布） ☐授業後に、配布物あり（　に配布）
授業日の集合時間・場所	藤田小学校　校長室　12 時 45 分（授業開始の 15 分前）
お越しになる交通手段	車
謝金	○○○○円程度
その他	【ご持参いただくもの】　ベビー人形（まが玉赤ちゃん）　妊婦ジャケット 子宮（月経モデル）　新生児７体（みんなで抱っこ） 卵子～胎児の絵パネル　紙芝居（おへそ）　胎盤モデル 【こちらで準備しておく物】　おりがみ 1/4　針の穴開ける×人数分（済） 【確認しておくこと】 ・「精子と卵子はどうやって出会うの？」と聞かれたとき、性交のことを答えていいか？ ・宿題で「自分が生まれた時のこと」など保護者にインタビューさせてよいか？

すくすくテープについて

児童に体の発育を「自分事」として捉え、「体感」してもらうために、小学校１年生４月～４年生最終身長（今回は授業実施が 11 月だったため、４年生９月）までの伸びを表した「すくすくテープ」を授業で使用した。

児童全員分のテープを効率よく作成するために、保健室の機能と ICT を活用し、児童の身長のデータを入力すると、伸びの実寸大のグラフが表示される Excel データを作成した。

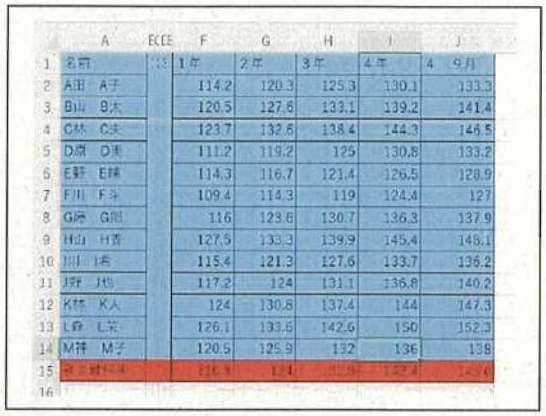
【すくすくテープの作り方】

①Excel の水色になっているセルに
「児童名」「１年４月身長」「２年４月身長」「３年４月身長」「４年４月身長」「４年最終身長」を入力する。
（赤いセルや、他のセルは操作しない）

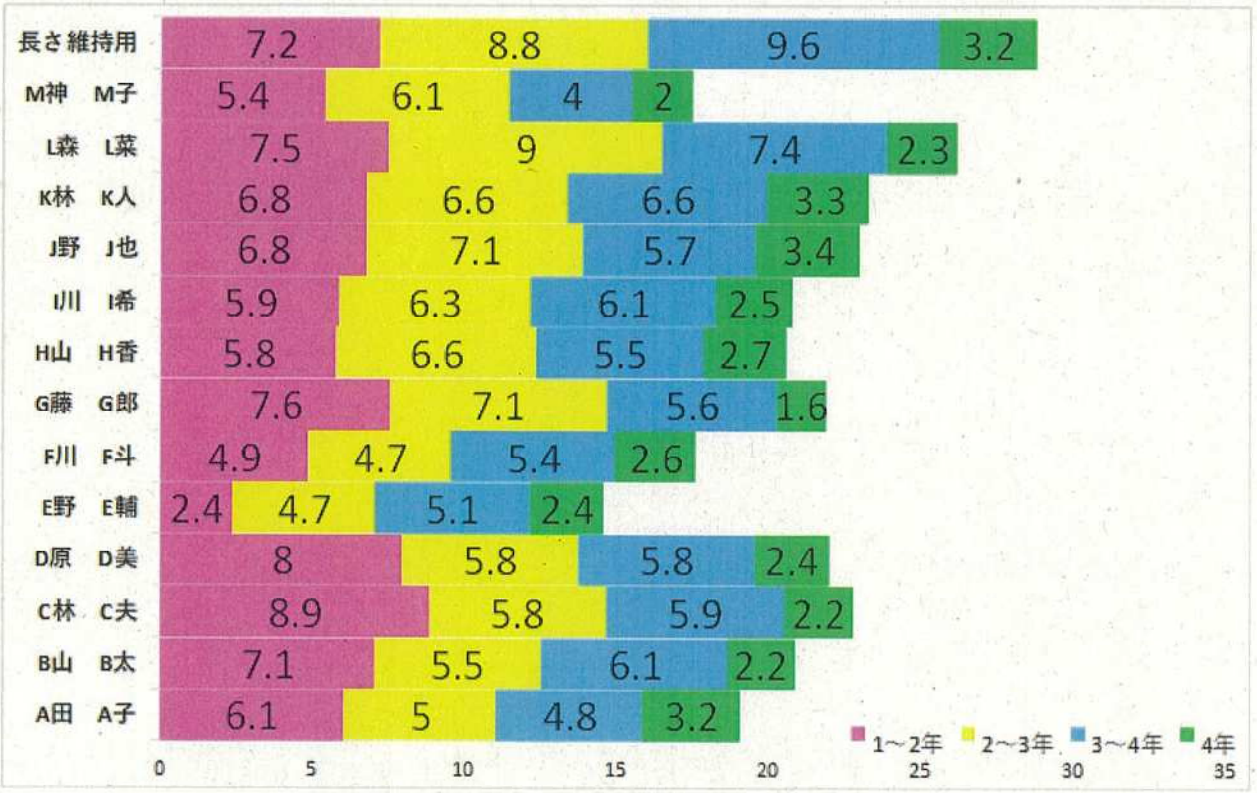
③データがグラフに反映されるので、グラフを選択する。
（グラフの上で１回クリック）

④Excel 左上、「ファイル」→「印刷」で印刷。
その際に印刷プレビューがグラフだけになっているか確認。

⑤A3 サイズで印刷すると実寸大で印刷可能。



	A	F	G	H	I	J
1	名前	1年	2年	3年	4年	4 9月
2	A田 A子	114.2	120.3	125.3	130.1	133.3
3	B山 B太	120.5	127.6	133.1	139.2	141.4
4	C林 C夫	123.7	132.6	138.4	144.3	146.5
5	D原 D美	111.2	119.2	125	130.8	133.2
6	E野 E輔	114.3	116.7	121.4	126.5	128.9
7	F川 F斗	109.4	114.3	119	124.4	127
8	G藤 G郎	116	123.6	130.7	136.3	137.9
9	H山 H香	127.5	133.3	139.9	145.4	148.1
10	I川 I希	115.4	121.3	127.6	133.7	136.2
11	J野 J也	117.2	124	131.1	136.8	140.2
12	K林 K人	124	130.8	137.4	144	147.3
13	L森 L菜	126.1	133.6	142.6	150	152.3
14	M神 M子	120.5	125.9	132	136	138
15	長さ維持用	116.3	124	[illegible]	132.4	[illegible]
16						



⑥テープを個人別に１本１本切り分け配布（下記のようにして）　※実物は実寸大

（中学校部会）

令和６年度埼玉県「性に関する指導」（保健教育）授業研究会開催要項

１　趣　旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

２　主　催　埼玉県教育委員会

３　期　日　令和６年１０月１６日（水）

４　会　場　加須市立昭和中学校（加須市北小浜７０）

５　参加者　（１）加須市立小・中学校、県内特別支援学校（中学部設置）の教職員（教諭・保健体育科教諭、保健主事、養護教諭等）
※加須市立小・中学校においては各学校１名参加してください。
（２）東部教育事務所（北埼玉地区）管内市教育委員会の指導主事等

６　日　程

（１）受　　付	１３時００分～	（　２号館入口　）
（２）開　　会	１３時２０分～１３時３５分	（　大会議室　）
（３）公開授業	１３時４０分～１４時３０分	（　教　　室　）
（４）研究協議	１４時５０分～１６時２０分	（　大会議室　）

７　公開授業

学年	授業者	単元名
３年	久保　あかね　　教　　諭	「健康な生活と疾病の予防」 性感染症とその予防

８　指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	大松　武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主　　幹	脇田　一亮
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主　　事	金井　孝太
埼玉県教育局東部教育事務所	指導主事	堀江亨一郎
加須市教育委員会学校教育課	主幹兼指導主事	岡戸　　亮

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部長	委員長	戸部　秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
志木市立志木中学校養護教諭	委員	力丸真智子
熊谷市立熊谷東中学校教諭	委員	今成　友美

9　参加について

・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
・上履きと下足入れをお持ちください。
・お車でお越しの際は、敷地内の中庭に駐車してください。なお、国道１２５号側の北門から車では入ることはできません。南門よりお入りください。
・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

地図を掲載していましたが、実施報告書上では省略します。

右のＱＲコードを読み込むと、ホームページの地図案内にリンクします。

1 指導内容の系統性

小学校では、インフルエンザ、結核、麻疹、風疹、結核などを適宜取り上げ、病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体の発生源をなくしたり、移る道筋を断ち切ったりして病原体が体に入るのを防ぐこと、また、予防接種や適切な運動、食事、休養及び睡眠をとることなどによって、体の抵抗力を高めておくことが必要であることを学習している。

2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

要）：学習指導要領
解）：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要１）感染症は、

要２）病原体が主な要因となって発生することについて理解できるようにする。

要３）発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて理解できるようにする。

解１）感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることについて理解できるようにする。（例示：結核、コレラ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎、麻疹、風疹）

解２）①細菌やウイルスなどの微生物が病原体、②温度、湿度などの自然環境、③住居、人口密度、交通などの社会環境、④主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し、感染症が発病することについて理解できるようにする。

解３）①消毒や殺菌等により発生源をなくすこと、②周囲の環境を衛生的に保つことにより感染経路を遮断すること、③栄養状態を良好にすることや、予防接種を行い身体の抵抗力を高めることで予防できることについて理解できるようにする。また、感染症にかかった場合、①疾病から回復すること②周囲に感染を広げないために、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて理解できるようにする。

≪本時≫３／４時間

解４）エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路について理解できるようにする。

解５）感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。感染を予防するには、①性的接触をしないこと、②コンドームを使用することなどが有効であることにも触れるようにする。

3 知識を活用した学習（3／4）

第1時では「生命（いのち）」についての学習と結びつけながら、感染症の様々な条件や、その予防策、かかった場合の対処法について学習し、第2時では感染症には3つの予防策があること、感染症にかかった場合は、周囲に感染を広げないためにできるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを学習した。感染症の授業で得た知識をもとに、性感染症の基礎知識や予防、感染リスクを軽減する方法など、正しい知識を身につけ、その知識を自分事として理解すると共に、今後の生活で生かしていけることを目指している。

導入

感染拡大実験ということを伝えず、ゲーム感覚でウォーミングアップを行う。授業途中の感染拡大の学習につながるようにする。前時までに学習した、性感染症の振り返りと、1年時に学習したスライドを使用し、「性」に関する学習をする意味を確認する。

【本時の課題】　性感染症を予防するには、どうすればよいだろうか？

展開1

習得①
性感染症の感染経路が性的接触であることを確認する。また、性に関するアンケート結果から、異性に対する興味や、相手に触れたいという気持ちが心の成長と共に増えていることを交えながら、感染拡大についての理解を深める。

方法①
事前に3学年全員を対象におこなった、性に関するアンケートの結果を確認する。
感染拡大実験の意図を伝え、使用した透明の液体（水＋水酸化ナトリウム）が入ったコップに、フェノールフタレイン溶液を垂らし、結果を確認する。

展開2

習得②
性感染症の種類を3つ（性器クラミジア、梅毒、性器ヘルペス）の異なった特徴や、似ている特徴があること、症状で男女の違いがあることなど、具体的な症状について深く学ぶ。そして、疾病概念や感染経路、性感染症には正しい予防方法があることを学習し、自分ごととしてとらえられる様にする。

方法②
主な3つの性感染症の中から、指定されたものをグループで要点をまとめる。教員が用意した資料を活用し、ねらいから脱線しないようにする。最後に号車ごとに発表し、具体的な知識を深める。習得した知識を自分の生活と重ね合わせながら、今後はどのような行動をしたらよいか考え、ワークシートに具体的に記入する。

評価　【知識・技能】（観察・ワークシート）
性感染症の予防や、感染リスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりできる。

まとめ

習得①
授業を通して学んだ知識を、自分事としてとらえられるよう、まとめの話をし、より深い学びにする。次時の学習につなげる。

方法①
授業を通して学んだ知識を、自分の今後の生活で正しく活用するためには、どのような行動をしたらいいのか考え、まとめる。

保健体育科（保健分野）学習指導案

令和６年１０月１６日(水)　第５校時　教室
第　３　学　年　６　組　　３　５　名
指 導 者　　教 諭　　久 保　　あ か ね

1　単元名　（1）健康な生活と疾病の予防「性感染症の予防」

2　単元について

本単元では、人間の健康は主体と環境が関わり合うこと、疾病を予防するためにはそれらに関わる要因に対する適切な対策があることを学び、現在だけでなく生涯を通じて健康な生活を送れるよう、主体的に取り組む態度を身に付けることをねらいとしている。

中学生は、体は大人へと近付いているが、精神的、社会的には未成熟である。生涯を通じて健康を保持増進するための、正しい知識を学ぶために、また、「性」に関する内容を正しく学ぶ機会が少ない生徒にとって、本単元は生徒が自分自身や大切な人を守るために、必要な内容である。不確実な情報が錯綜する世の中で、正しい情報を見分ける力を身に付け、それを自分ごととして捉え、それらの予防や課題解決に向けて思考・判断するとともに、適切に行動する力を身に付けさせたい。

3　生徒の実態

（1）知識及び技能

（掲載省略）

（2）思考力、判断力、表現等

（掲載省略）

（3）学びに向かう力、人間性等

（掲載省略）

4　教師の指導観

（1）知識及び技能

１年時に「心身の機能の発達と心の健康」を学んでいる。本学習では１年時の学習の振り返りや、前時までの内容（感染症の広がり・予防）との繋がりを持たせ、「生命（いのち）」についての学習と結びつけながら、自分ごととして理解するとともに、性感染症の基礎知識や予防、感染リスクを軽減する方法など、正しい知識を身に付け、その知識を今後の生活で生かしていけるような授業を展開する。

（2）思考力、判断力、表現等

小グループで調べ学習を設定し、「性感染症」に関する認識やそれぞれの特徴の違いを発見させ、さらに予防策を知ることで、正しい知識を正しい判断のもと発揮する大切さを学ばせる。また、ゲーム感覚で感染拡大実験を行い、「性感染症」や「性に関する問題」の加害や被害に遭わないようにする態度を育てる。さらに、「性」に関して困ったときの正しい対処法など、自分で思考判断し、実行できる能力を育成する。

（3）学びに向かう力、人間性等

「性」の内容を扱うことに関して、「他人事」ではなく「自分にも起こりうる問題」として捉えることが重要になる。「性感染症」の調べ学習では、発言しやすいように小グループで行い、簡単な資料を使用しながら自分の意見や考えを取り入れることで、自分ごととして捉えさせる。そして、「今後の生活でどのような行動に気を付けることが大切か」という課題や考えを主体的に深められるように働きかけたい。

5　単元の目標

（1）　感染症は病原体が主な要因となって発生し、自然環境や社会環境も関わっていること、また、感染リスクを軽減する効果的な予防方法について、理解することができるようにする。　＜知識及び技能＞

（2）　健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、生活上で感染することの課題を発見し、習得した知識を活用して科学的に思考・判断し、表現することができるようにする。

＜思考力、判断力、表現力等＞

（3）　健康な生活と疾病の予防について、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、自主的に粘り強く学習に取り組もうとすることができるようにする。　＜学びに向かう力、人間性等＞

6　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①感染症は、病原体が主な要因となって発生し、様々な条件だけでなく、環境も関わっていることや、その予防策及び感染症にかかった場合の対処について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②エイズや性感染症の疾病概念や感染経路及び感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①健康と環境に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、生活上で感染することへの課題を発見し、習得した知識を活用して思考・判断し、表現している。 ②健康と環境について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話あったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて伝え合っている。	①学習内容に感心をもち、資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。

7　単元の指導と評価の計画（全４時間）　本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	【感染症の広がり方】 Ⅰねらい ・感染症は、病原体が主な要因となって発生し、様々な条件だけでなく、環境も関わっていることや、その予防策及び感染症にかかった場合の対処について理解できるようにする。 Ⅱ学習活動 1　本時のねらいを確認 2　命についての動画視聴・アクティブタイム 3　感染症の種類や特徴について 4　感染経路・条件について 主たる学習内容（知識） ・病原体の種類によって、感染経路が異なること ・感染症には広がる条件があること 5　本時の学習の確認・振り返り・まとめ	①			観察 ワークシート

2	【感染症の予防】 Ⅰ　ねらい ・感染症は、病原体が主な要因となって発生し、様々な条件だけでなく、環境も関わっていることや、その予防策及び感染症にかかった場合の対処について理解できるようにする。 ・健康と環境に関わる事象や情報などを分析・整理し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して思考・判断し、表現できるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　前時の学習の振り返り 2　本時のねらいを確認 3　３つの対策について知る ・小グループで話し合い活動にて意見交換 主たる学習内容（知識） ・感染症には３つの予防策があること ・感染症にかかった場合は、疾病から回復すること、周囲に感染を広げないためにも，できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であること	①			観察 ワークシート
	4　今後の生活について考える 5　本時の学習の確認・振り返り・まとめ		①		観察 ワークシート
③	【性感染症の予防】 Ⅰ　ねらい ・性感染症の疾病概念や感染経路及び感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　感染拡大実験ゲーム 2　１年時の学習の振り返りと本時の課題について 3　グループ活動 ・性感染症の種類別の特徴を配布した資料から見付け出し、小グループ（４～５人）でまとめ用紙にまとめる。 4　性感染症の予防方法を知る 主たる学習内容（知識） ・性感染症の疾病概念や感染経路 ・性感染症には正しい予防方法があること。	②			観察 ワークシート
	5　今後の生活について考える 6　本時の学習の確認・振り返り・まとめ				
4	【エイズの予防】 Ⅰ　ねらい ・エイズの疾病概念や感染経路及び感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。 ・健康と環境について、疾病等のリスクを軽減し健康を保持 増進・回復する方法を考え、その理由などを他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて伝え合えるようにする。				

	Ⅱ　学習活動 1　前時の学習の振り返り 2　本時のねらいを確認 3　エイズの特徴について知る・動画視聴 4　HIV感染の予防対策について 主たる学習内容（知識） ・エイズの疾病概念や感染経路 ・感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があること	②			観察
	5　今後の生活について考える				
	6　ゲストティーチャー（看護師・大学教授）の話				
	7　単元のまとめ ・感染症、性感染症についてのまとめの学習 主たる学習内容（思考・判断・表現） ・疾病等のリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を伝えられること。		②		ワークシート
	8　本時の学習の確認・振り返り・まとめ			①	観察 ワークシート

※「主体的に取り組む態度」については、単元全体で評価していくため破線（―）で示している。

8　本時の学習と指導（3/4時）

（1）ねらい

・性感染症の疾病概念や感染経路及び感染リスクを軽減する効果的な予防方法を身に付けることが必要であることについて理解することができるようにする。　〈知識及び技能〉

（2）準備・・・ワークシート、テレビ、実験用具（水酸化ナトリウム水溶液、フェノールフタレイン溶液、プラスチックコップ6個）、調べ学習用資料

（3）展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点(○指導 ◆評価規準)
導入 10分	1　号令・挨拶	○元気よく挨拶をさせる。
	2　ウォーミングアップ ・感染拡大実験 （ジャンケンをして勝った方がカップに入った水を少しもらう。） 	○生徒にはゲーム感覚で行わせる。（感染拡大実験だとは伝えない）授業途中の感染拡大の学習につながるようにする。 ※見た目は変わらないが、フェノールフタレイン溶液を入れると、水酸化ナトリウムが入っているコップの水には色がつく。性感染症の感染が気がつかないうちに感染を広げている事を実験で表現する。
	3　前時の振り返りと1年次の学習の復習 ・感染症について ・プライベートパーツについて	○前時の内容と、1年時に学習したスライドを使用し、「性」に関する学習をする意味を確認する。
	4　本時の学習課題の確認	
	【学習課題】　性感染症を予防するには、どうすればよいだろうか？	

展開　35分

5　性感染症を知る
・性感染症の感染経路の確認をする。
・アンケート結果の確認をする。

○スライドを用いて、性感染症の感染経路が性的接触であることを確認する。また、性に関するアンケート結果から、異性に対する興味や、相手に触れたいという気持ちが、心の成長と共に増えていることを交えながら、感染拡大について説明をする。

・感染拡大実験の結果の確認をする。

○ウォーミングアップで行った感染拡大実験の意図と理由を伝え、結果を確認する。

＜予想される反応＞
・知らない間に感染していて怖い。
・驚き。

6　性感染症の調べ学習、発表（グループ活動）
・４人程度のグループになる。
・資料を使用し、担当する性感染症の特徴を調べる。
・まとめ用紙にまとめる。
・号車ごとに担当した性感染症の特徴について調べた内容を発表する。
・まとめ用紙を黒板に貼る。

○スライドで調べ学習の流れや発表方法を説明し、すぐにグループ活動を開始させる。
○性感染症の主な３つの性感染症（性器クラミジア感染症、梅毒、性器ヘルペス感染症）をグループで調べ、まとめ用紙に特徴をまとめさせる。
○教員が用意した資料を使用させる。

○一回手を止めさせてから、発表する時の注意点を伝え、スムーズに発表できるようにする。
○時間を見て、全体発表するグループを指示する。

＜予想される反応＞
・性感染症は種類によって特徴が違う。
・似たような特徴もある。
・主な症状で男女の違いがある。

7　予防方法を知る
・性感染症を防ぐ３つの予防策を説明する。

○自分ごととして捉えられるように説明をする。

主たる学習内容（知識）
・性感染症の疾病概念や感染経路
・性感染症には正しい予防方法があること。

・感染した場合、どうするのか考える。
・自分ごととして捉え、今後はどのような行動をしたらよいか考え、ワークシートに具体的に記入する。

○感染した時にどのような行動をとるのか、具体的に考えさせる。
○３０秒で記入。書けるところまででいいことを伝える。数人発表させる。

◆性感染症の予防や、感染リスクを軽減する方法を身につけることが必要であることを、言ったり書いたりできる。
（観察・ワークシート）【知識・技能】

＜予想される反応＞（ワークシート）
・正しい知識をもって、正しい行動ができるようになる。
・大切な人を守れるようになりたい。
・将来のことを考えて、予防策をしっかり頭に入れて行動したい。　など

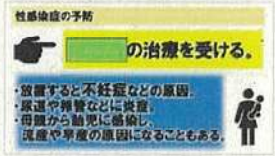
△「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への指導の手立て
・具体的にイメージしやすいようにキーワードをワークシートに記載する。
・机間指導で、助言を行う。
◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿
・自分のこととして捉え、今後の生活でどのように活かすのか、具体的な内容を考え、まとめることができる。

まとめ 5分	8　確認の問題 ・ワークシートの最後の問題を解く。 9　まとめ ・教員がまとめの話をする。 ・次時の説明をする。 １０　号令・挨拶	○時間配分を考えて問題を行わせる。 ○振り返りをかねて、教員がまとめの話をし、今後の生活について考えさせる。 ○次時の学習内容の「エイズ」に軽く触れる。 ○元気よく挨拶をさせる。

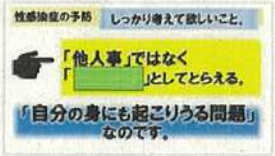
9　資料等

29

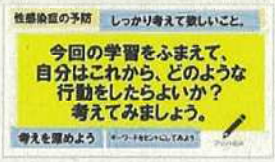
30



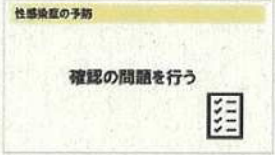
31



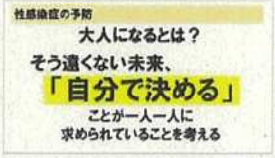
32



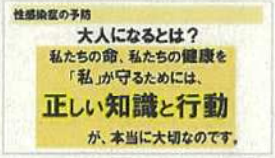
33



34



35



36

37

学習日　月　日（　）

『性感染症の予防』

3年　　組（　　）名前：

<ねらい>

性感染症の予防や、感染リスクを軽減する方法を身につけよう

性感染症

1、性感染症とは？

感染者の　　液、　　液、　　液が

（感染経路）によって、粘膜 や 皮膚の傷口 を

通して感染する※疾病のこと

【記入ワード】　血液　精液　膣分泌液（ちつぶんぴえき）　性的接触

※疾病…疾病とは医師から診断を受け、治療が必要であると判断されたもののことを表す。

○ 感染しても　　しない場合や、発病しても　　がない場合もある。

→ ○ 気が付かないうちに　　する危険性がある。

【記入ワード】　発病　自覚症状　感染拡大

2、主な性感染症を知ろう　アクティブタイム

・まとめ用紙１～２枚

・役割を決め、資料から情報をぬきだす。

・まとめ用紙に簡単に記入する。

○○について
メンバー名

：

：

：

箇条書きでOK！

<発表の流れ>

名前

・（　　）：私たちの班は＿＿＿＿＿＿について資料から情報を集めました。

・（　　）：＿＿＿＿＿＿は、○○という特徴があります。また…（自由発表）

・（　　）：感想は…（簡単で良い。言えたらで良い。）

・（　　）：これで発表を終わりにします。

メモ

○発表を聞いて、特徴などわかったことをメモしましょう。

① 性器クラミジア感染症	② 梅毒	③ 性器ヘルペス感染症

3、性感染症の予防策

① 正しい（　　）を知っておく。→ 正しい知識は自分とパートナーを守ってくれます。

② （　　）を正しく使用する。→ 正しく使用することで、性感染症を予防することができます。

③ （　　）を避ける。→ 正しい判断と行動を、安全なパートナーを。

【記入ワード：　知識　コンドーム　性的接触】

○ 性感染症は、自然 に治りません。

（1）もしあなたが感染してしまったら、どうしますか？どのような行動を起こしますか？

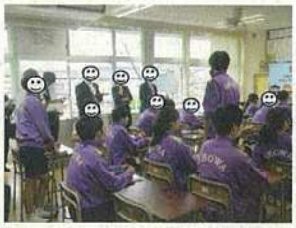
大人へと自立していく君達。「性感染症」を「他人事」ではなく「自分の身にも起こりうる問題」として捉えましょう。

（2）今回の学習をふまえて、あなたはこれからどのような行動をしたらよいか考えてみましょう。

【キーワード】将来 ・ パートナー ・ 正しい知識 ・ 正しい行動 ・ 判断 ・ 守る ・ 子ども ・ 責任 ・ 予防

１０　授業の様子

ウォーミングアップ



感染症の調べ学習、発表

発表まとめ資料

生徒の感想（学習プリントより）

性感染症は、意外と身近にあるもので、正しい知識をもたずに行動してしまうと、最悪死にいたることも知った。また、性感染症の陰に隠で、生まれてくる新しい生命にも害があるのが一番嫌なので、9月学んだことを他人事だと思わずに、将来の自分とパートナーを守れるように、正しい行動をとれるようにしたい。

自分たちや、そのパートナーの将来のためにも、正しい知識や行動を知った上で判断しなければならない。また、自分たちの子どもに感染しないように予防することも大切だということを知ったので正しい知識と行動の仕方をしっかり身につけた上で、生活したいたとえ一自分の身におこったとしても、おちついて、専門医に相談できるようにしたい

今日学んだことをふまえて、今や将来パートナーができて、そのようなことがあった自分や相手にとって正しい行動なのかよく判断できたらいいなと思った。また、自分だけでなく友達にも正しい知識を教えてあげたい。自分は女性だからこそ注意したいし、将来赤ちゃんをうむ体でいるように、今からしっかり予防もしていきたいです。

正しい知識を知ることで、パートナーや子ども、自分自身の安全を守れるようにしたいと思った。死に至ることもあるのでしっかり予防して、責任のとれる行動をしていきたい。正しい判断をして、無責任なことはしないようにしたい。

１１　外部講師の活用について（活用方法などの案）

○ 終末のまとめにて、具体的な性感染症の話を看護師や、養護教諭が行う。

○ 外部指導者の方とオンラインをつないでお話をしていただいたり、動画を撮影して流したりする。

（高等学校部会）

令和６年度埼玉県「性に関する指導」授業研究会（高等学校）開催要項

１　趣　旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらを関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科（保健体育科）の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

２　主　催　　埼玉県教育委員会

３　期　日　　令和６年１０月２３日（水）

４　会　場　　県立進修館高等学校（行田市長野１３２０）

５　参加者　　県内公立高等学校及び特別支援学校の教職員（保健体育科教諭、保健主事、養護教諭等）

※特に、採用後１～４年目で、毎年開催される本授業研究会にこれまで一度も参加したことのない者（科目保健授業担当者）の参加について、御配意願います。

６　日　程

（１）受　　付　１３時００分～　　（西職員玄関（事務室前））
（２）公開授業　１３時２５分～１４時１５分　（１Ｆ：大会議室）
（３）全 体 会　１４時３０分～１４時５０分　（１Ｆ：西Ｄ講義室）
（４）研究協議　１４時５５分～１６時２０分　（１Ｆ：西Ｄ講義室）

※会場は運営上、講義室Ａ～Ｃ、大会議室のいずれかに変更する場合があります。

７　公開授業

学年	授業者	単元名
１年	梨本　雄太　　教諭	（１）現代社会と健康 （イ）現代の感染症とその予防 性感染症・エイズとその予防

８　指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課　　長	荻原　篤大
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	薬師寺將二
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主　　査	平尾　勇樹
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	髙沢　聖子

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部教授	委員長	戸部　秀之
川口市立並木小学校校長	副委員長	岩澤奈々子
県立北本高等学校教諭	委員	川尻鈴ノ介
県立三郷高等学校養護教諭	委員	宮尾　仁美

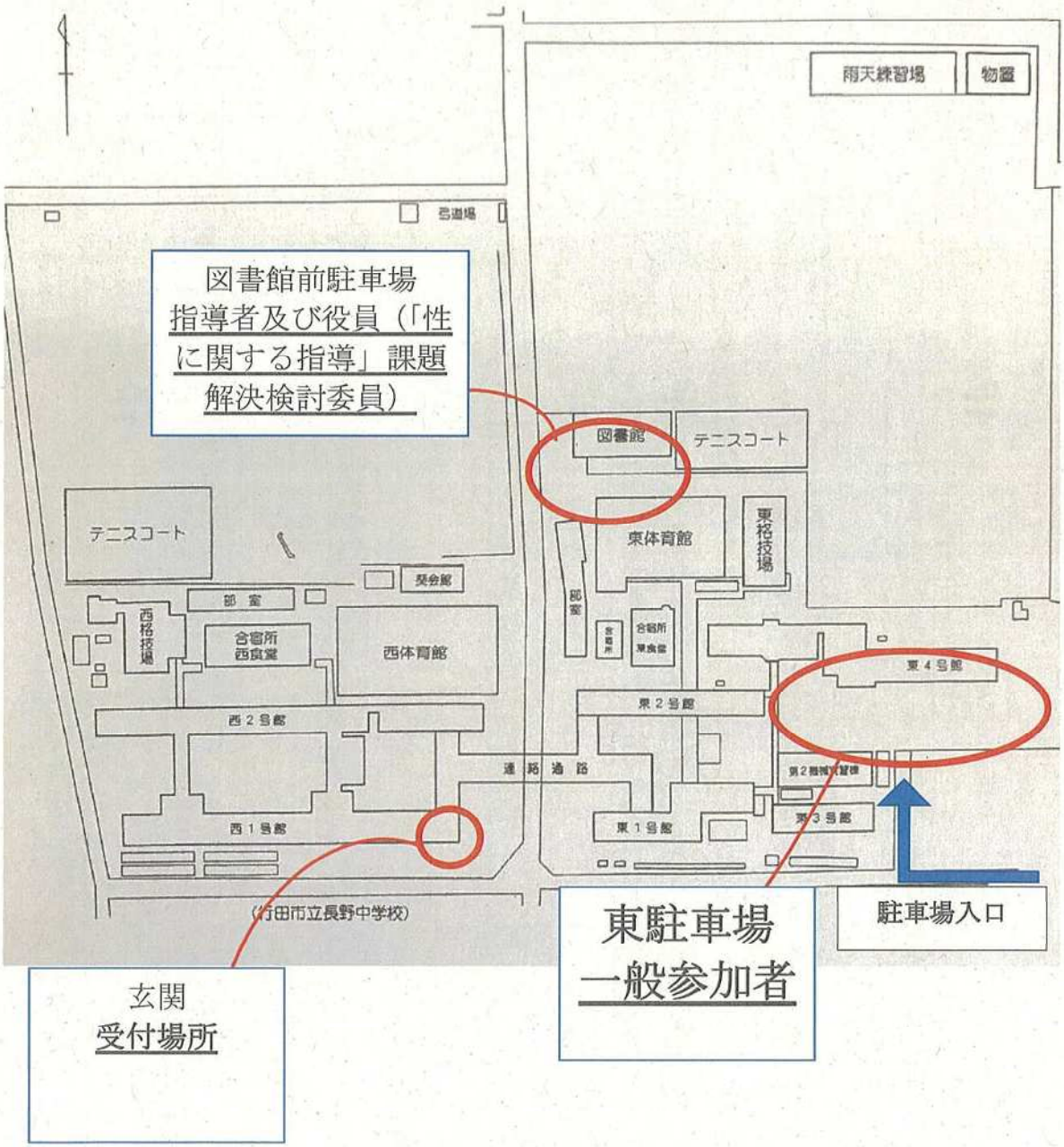
9　参加について

・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いします。
・上履きと下足入れをお持ちください。
・駐車場には限りがありますので、可能な場合は公共交通機関で来校願います。
・お車でお越しの際は、東４号館前の東駐車場に駐車してください。
・会場校に来校する際には、以下の方法でお願いします。

県立進修館高等学校への御案内

地図を掲載していましたが、実施報告書上では省略します。

一般参加者の駐車場（東駐車場）御案内



・校舎が道路を挟んで東西に分かれています。公開授業及び研究協議は西校舎で実施します。
・一般参加者は上記の通り、東４号館前の東駐車場をご利用ください。
・図書館前の駐車場は、指導者及び役員（「性に関する指導」課題解決検討委員）が使用します。

（１）現代社会と健康 ＞ （イ）現代の感染症とその予防 ＞ 性感染症・エイズとその予防

1 指導内容の系統性

中学校では、「健康な生活と疾病の予防」において、健康の保持増進や疾病の予防をするためには、食時、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること、生活行動と健康に関する内容として喫煙、飲酒、薬物乱用を取り上げ、これらと健康の関係を理解できるようにすること、また、疾病は主体と環境がかかわりながら発生するが、疾病はそれらの要因に対する適切な対策、例えば、保健・医療機関や医薬品を有効に利用することなどによって予防できること、社会的な取組も有効であることなどを学んでいる。

2 指導内容の明確化

要）：学習指導要領
解）：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

ア　知識及び技能

要１）我が国の疾病構造や社会の変化に対応した健康の保持増進のためには、一人一人が健康に関して深い関心をもち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であると理解できるようにする。

要２）一人一人がヘルスプロモーションの考え方に基づいた現代社会の健康課題を理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。

（ア）健康の考え方

（イ）現代の感染症とその予防

感染症について

解１）時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解する。

その際

解２）交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていることを理解する。

解３）新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、エイズ、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解する。

感染症の予防には

解４）衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解する。

（ウ）生活習慣病などの予防と回復

（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

（オ）精神疾患の予防と回復

≪指導案作成≫
１７／１９時間

3 知識を活用した学習

前時までに、本時で扱う内容（性感染症・エイズ）に関連した内容について、スライドやワークシート、およびディスカッションや調べ学習などのグループ活動を用いて学習している。また事前アンケートを実施して、性に関する知識・理解を調査し、そのデータに基づいた授業準備をしている。

本時では、前時の内容および事前アンケートを参考にして、『ディベート』を活用した授業を展開する。ディベートでは、前時までに習得した性感染症・エイズの知識をもとに、生徒一人一人が性について思考・判断・表現できるようにする。

こうした活動を通して、エイズを予防するためには正しい知識を身に付けること、そして一人一人が当事者意識を持った行動をとることが重要であると理解できるようにする。

＜導入＞ 前時の復習・本時のねらいの確認

＜展開１＞

習得

・前時で習得した内容をもとに、編成したグループのメンバーと知識や情報を共有する。
・共有した知識や情報を活用してディベートの準備をする。準備の内容は「立論」「応答」「想定される質問」など。

評価①（観察・ワークシート）
前時で習得した内容やここに調べてきた情報を的確にグループのメンバーに伝えることができているか、また、知り得た情報をワークシートに端的にまとめることができているかを見取る。
（思考・判断・表現）

＜展開２＞

活用

・ディベートの展開に応じて、自身のグループで共有した考え方や情報を適切に相手グループに発信する。
・相手グループからの発言や質問に対して、自身のグループのメンバーと協議しながら次の発言を検討する。

＜展開３＞

まとめ

・ディベートを通して学習した内容をグループのメンバーと共有する。また最も優れた発信者を選出する。
・前時から本時までの学習内容を80字以内で文章化し、知識の再構築を図る。

評価②（観察・発表）
ディベートを通して学習した内容や考え方を、グループのメンバーと伝え合ったり、文章にまとめることができているかを見取る。
（主体的に学習に取り組む態度）

保健体育科（科目保健）学習指導案

令和６年１０月２３日（水）　第５校時　西大会議室
第１学年２組　３２名
教　諭　　梨本　雄太

１　単元名　「現代社会と健康　（イ）現代の感染症とその予防　１７　性感染症・エイズとその予防」

２　単元について

多くの子どもが思春期（第二次性徴）を迎える高校段階において、性に関する知識・情報を正しく理解することが必要になる。その一環として、保健の学習における性感染症・エイズについて知識や考え方をしっかりと深めていくことが大切である。性に関する教育（以下「性に関する指導」とする）は主に３単元で扱われる内容だが、なぜ性感染症に感染するのか、性感染症になると自他ともに何が起きるのかという根本的な面を早い段階で理解させることが求められる。

３　生徒の実態

（１）知識及び技能

（掲載省略）

（２）思考力、判断力、表現力等

（掲載省略）

（３）学びに向かう力、人間性等

（掲載省略）

４　教師の指導観

（１）知識及び技能

中学までの段階で一定の性に関する指導を受けてきていることを想定し、学習指導要領に則した学習内容を取り扱う。本時では主に「ディベート」で授業を展開することになるので、生徒一人一人が持っている知識を正しく使うことができるかという点について丁寧に指導を行う。

（２）思考力、判断力、表現力等

昨今の性の在り方・考え方は多様性を増してきており、性に関する指導を一括りで実施することが困難になっている。授業中の言葉の使い方、表現の仕方などに注意し、生徒一人ひとりが自分事として授業に参加できるように配慮する。

（３）学びに向かう力、人間性等

思春期の後半で、性について興味関心を持つ生徒が多いと予想する。一方で、性に関する拒絶や、自らの性自認がまだ十分でない生徒も一定数いることも考えられる。

５　単元の目標

（１）感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることや、感染症のリスクを軽減し予防する対策とともに、個人の取組が必要であることについて、理解できるようにする。特に性感染症においては、予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。　〈知識及び技能〉

（２）自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、説明することができるようにする。　〈思考力、判断力、表現力等〉

（３）「性感染症・エイズとその予防」について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。　〈学びに向かう力、人間性等〉

6　評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。	①性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明している。	①性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

※「１５　現代の感染症」「１６　感染症の予防」に関する評価規準は省略しています。

7　単元の指導と評価の計画（全２時間）　本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	Ⅰ　ねらい ・性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解できるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　本時の課題について考える。 2　学習のねらいを知る。 3　性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解する。 4　本時の学習のまとめをする。 主たる学習内容（知識） ・性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策	①			観察 ワークシート
②	Ⅰ　ねらい ・性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明することができるようにする。 ・性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 Ⅱ　学習活動 1　前時の学習を振り返る。 2　本時の学習のねらいを知る。 3　ディベート学習での活動を通して、性感染症とエイズが他の感染症と異なる点について考える。また性感染症・エイズを自分事として捉え、今後どのように向き合っていくかを考える。 4　前時と本時を通した考えをまとめる。		①	①	観察 ワークシート

8　本時の学習と指導　（２／２）

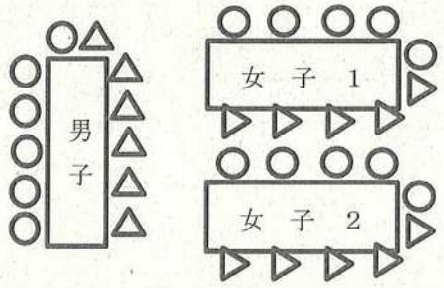
（1）ねらい

・性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明することができるようにする。
〈思考力、判断力、表現力等〉

・性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。　〈学びに向かう力、人間性等〉

（2）準備・・・教科書、学習プリント、タブレットPC

（3）展開

	学習内容・学習活動	指導上の留意点（○指導　◆評価規準）
導入7分	1　前時の学習を振り返る。 ・性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法についてグループ内で復習する。 2　本時の学習のねらいを知る。 ・性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明することができるようにする。 ・性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	○グループ活動に入りやすいようにあらかじめグルーピングと座席の移動を済ませる。 ○前時の学習カードを振り返り、キーワードや学習のポイントを確認させる。 ○ディベートの論点がずれないように、本時のねらいを明確に示す。
	【学習課題】　性感染症・エイズと他の感染症の異なる点に気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて、他者に説明できるようになろう。	
展開35分	3　ディベート学習 （1）テーマとグループの確認　＜5分＞ ◇テーマ1「*パートナーが交際前から《性感染症》に罹患していたことが分かった。あなたはそのパートナーとは**A. 交際を続けますか？**　それとも　**B. 別れますか？**」* ◇テーマ2「*パートナーが交際前から《エイズ》に罹患していたことが分かった。あなたはそのパートナーとは**A. 交際を続けますか？**　それとも　**B. 別れますか？**」* ・女子２０人が４グループに分かれてテーマ１に、男子１２人が半分に分かれてテーマ２にそれぞれ取り組む。 （女子は５人組×４グループに分け、ＡとＢそれぞれ２グループの立場に立ってディベートを行う） （2）ディベート前ミーティング　＜１２分＞ ・生徒たちが各自で事前に調べてきた情報をグループの中で共有する。 ・情報をもとに『立論』を考える。 ・時間があれば、相手側からの質問を想定し、それに対する応答を検討する。 （3）ディベート開始　＜１５分＞ ・お互いが立論の発表をする。 ・相手の立論に対してグループ内で『応答（質問）』を検討し、伝え合う。 ・時間内で応答（質問、回答、主張）を繰り返す。	《グループの座席配置》  ○可能であれば本時までにグループ毎の立論を考えてくる。 ◆性感染症・エイズが他の感染症と異なる病気であることに気付き、自分の行動への責任感、異性への理解・尊重、性に関する情報等への適切な対処の方法などについて整理し、他者に説明している。 （観察・ワークシート）【思考・判断・表現】 △「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て ・グループのミーティングで、調べてきた情報を正しく伝達・共有させる。ディベートの場面では発言はできなくてもメモはしっかりと取らせ、グループの活動に貢献させる。 ◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿 ・グループで共有した情報を丁寧に相手グループに説明することができる。また、相手の発言に対して正鵠を射た応答を考え、伝えている。 ○相手の発言は必ずメモを取らせ、グループで話し合いながら応答を検討できるようにさせる。

	   （４）勝敗の決定 ・ディベートの内容を受けて客観的に勝敗を決定する。	◆性感染症・エイズとどう向き合うのかを前向きに考え、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 △「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への指導の手立て ・性感染症・エイズについて、これまでの学習内容を振り返らせ、確認させる。 ◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿 ・前時と本時の学習内容を踏まえながら、今後自身が性感染症・エイズにかからないための考え方・行動について記述している。
まとめ８分	４　前時と本時を通した考えをまとめる。 ・各グループで出た結論と勝敗をクラス全体で発表させる。 ・性感染症・エイズに感染しないための正しい考え方・行動を８０文字以内でまとめる。	

９　外部講師の活用について（活用方法などの案）

・１時間目に、性感染症・エイズの原因、感染経路、予防の方法、治療の方法、予防のための個人の行動選択や社会の対策について学習する際に、事前にこれらについて医師の立場から話していただく動画作成を依頼しておき、その動画も視聴することで、生徒の理解を深めさせる。（一人一台端末に動画ファイルを共有し、生徒が調べ学習をする中で、視聴できるようにするような手立ても考えられる。）

・２時間目のディベートを外部講師に実際に見てもらい、ディベートの総評と合わせて、外部講師の立場から話をしていただく。その後、学習のまとめへとつなげる。

Ⅳ　埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会

令和６年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

（設置）
第１条　学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（事業）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。
(1)　児童生徒の発達の段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
(2)　各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
(3)　性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

（組織）
第３条　委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。
２　委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。
３　委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

（運営）
第４条　委員長は、委員会を総括する。
２　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（任期）
第５条　委員の任期は、令和７年２月２８日までとする。

（会議）
第６条　委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。
２　委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

（事務局）
第７条　委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

（その他）
第８条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

附　則
この要綱は、令和６年４月２６日から施行する。

別　表（第３条関係）　委員

学識経験者
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

学校健康教育推進事業（「性に関する指導」課題解決支援事業）

【児童生徒を取り巻く状況】
- 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

【課題】
- 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- 自他を尊重する心を育むこと。

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会の開催

○ 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。

・県における課題の把握
①性感染症
②人工妊娠中絶
③性情報への対処
④家族計画の意義　など

・課題解決方法の協議、検討
・事業成果の検証
・事業成果の普及・啓発（実施報告書の作成）

【構成員】
有識者、学校関係者　等

報告　　指導助言　　報告

「性に関する指導」指導者研修会の開催

○ 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催する。

・行政説明　　・実践発表　　・講演会

※実践発表は、前年度の授業研究会における授業者による。

「性に関する指導」授業研究会の開催

○ 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施する。

・校種別に授業研究会を開催
・研究協議　等

学習指導要領に基づく内容で、外部講師を活用した効果的な指導について単元の中で研究を進める。

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和６年度　埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏　名	所　属	職　名
1	委員長	戸部　秀之	埼玉大学教育学部	学部長
2	副委員長	岩澤　奈々子	川口市立並木小学校	校長
3	副委員長	荻原　篤大	教育局県立学校部保健体育課	課長
4	委員	川尻　鈴ノ介	県立北本高等学校	教諭
5	〃	梨本　雄太	県立進修館高等学校	教諭
6	〃	宮尾　仁美	県立三郷高等学校	養護教諭
7	〃	力丸　真智子	志木市立志木中学校	養護教諭
8	〃	久保　あかね	加須市立昭和中学校	教諭
9	〃	今成　友美	熊谷市立熊谷東中学校	教諭
10	〃	藤田　晃輔	八潮市立八幡小学校	教諭
11	〃	塩澤　美保子	本庄市立藤田小学校	養護教諭
12	〃	犬島　未歩	入間市立東町小学校	教諭

1	事務局	薬師寺　將二	教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事
2	〃	脇田　一亮	教育局県立学校部保健体育課	主幹
3	〃	高沢　聖子	教育局県立学校部保健体育課	指導主事
4	〃	坂上　三四郎	教育局県立学校部保健体育課	指導主事

令和６年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業
実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課
課　　長　荻原　篤大
教育指導幹　大松　武晴
主任指導主事　薬師寺將二
主　　幹　脇田　一亮
主　　査　平尾　勇樹
指導主事　龍野　雅美
指導主事　坂上三四郎
指導主事　髙沢　聖子
主　　事　金井　孝太

令和７年３月発行

さいたま市浦和区高砂３－１５－１
電話　０４８－８３０－６９６３

埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」